

WEB基礎演習

第7回

2020年11月6日（金）

- ・ソーシャルディスタンスを保とう（できるだけ1席ずつあける）
- ・必携PCを使いましょう
- ・もし忘れた場合→181教室でのログイン
 - 2限のユーザ名：WebPro4_1kumi
 - 3限のユーザ名：WebPro4_2kumi
 - パスワード：kudo

Today's Agenda

本日の内容

- タグ模擬試験(次回、本番の小テスト)
 - 他ファイルの呼び出しについて詳しく
 - 他ファイルを呼び出すタグやプロパティ/ファイルパスについて
 - 絶対パスと相対パス
 - フォルダの階層構造と相対パスの書き方
-

タグ模擬試験

ファイルパスについて

～これまで出てきた他ファイル呼び出し～

他のファイルを呼び出す記述は4つ出てきた

1) 画像ファイルを表示するタグ

```

```

2) ハイパーリンクの[a](#)タグ

```
<a href="リンク先のファイルの場所">リンク元</a>
```

3) cssファイルを読み込むlinkタグ

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="cssファイルの場所">
```

4) 背景に画像を読み込む
background-imageプロパティ

```
background-image : url(画像ファイルの場所);
```

緑字部分には、ファイルパス
(呼び出すファイルが何処にあるのか)を書く



書き方は2種類

- 1) 絶対パス
- 2) 相対パス

パスの書き方の種類について

～絶対パスと相対パス～

Webにおける絶対パスと相対パス

1) 絶対パス

ファイルパスを、URLを使って書く

```
<a href="http://www.kurume-it.ac.jp">久留米工業大学</a>
```

このURLが指すファイルは世界中に1つしかない *絶対的な場所を示しているといえる*

2) 相対パス

ファイルパスを、呼び出し元からの相対的な位置で書く

```
<a href="kadai1.html">
```

```

```

kadai1.htmlやimage1.jpg が世界に1つなわけではない

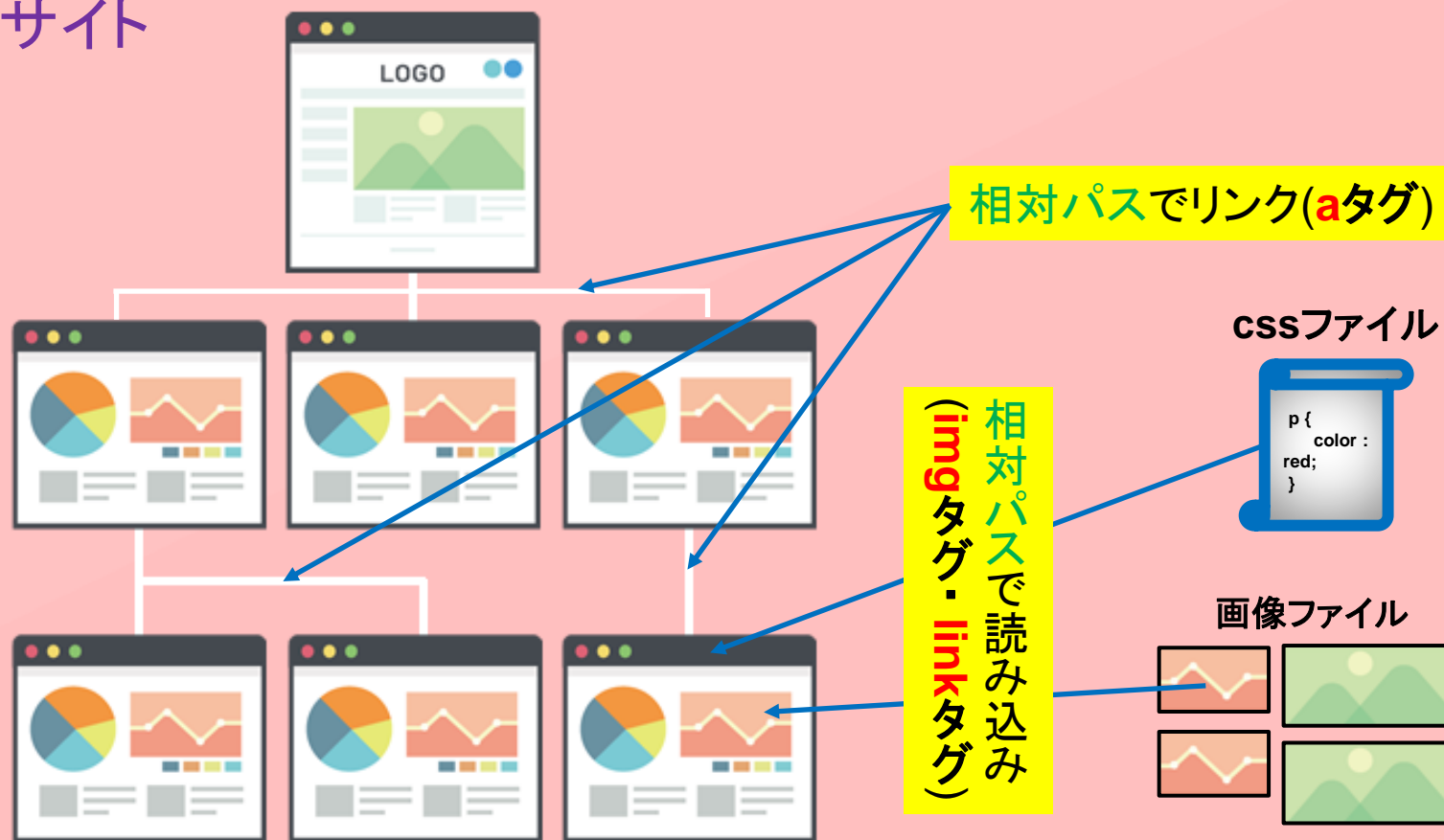


これが相対パスの書き方で、このタグが書かれたファイルと同じ階層(フォルダ)にkadai1.htmlなどがあって初めて機能する

Webサイト内の各ファイル呼び出し

Webサイト内では、他ファイルの呼び出しを基本的に**相対パス**で記述する

Webサイト



Webサイト内の各ファイル呼び出し

Webサイト内では、他ファイルの呼び出しを基本的に**相対パス**で記述する

相対パスで記述しておくと、**サーバーを変えた場合などにもそのままリンク等が動く。**

絶対パスで記述していたら、**全ての他ファイル呼び出し部分を書き換えなければならない。**

久留米工業大学のサーバー上にWebサイトを構築

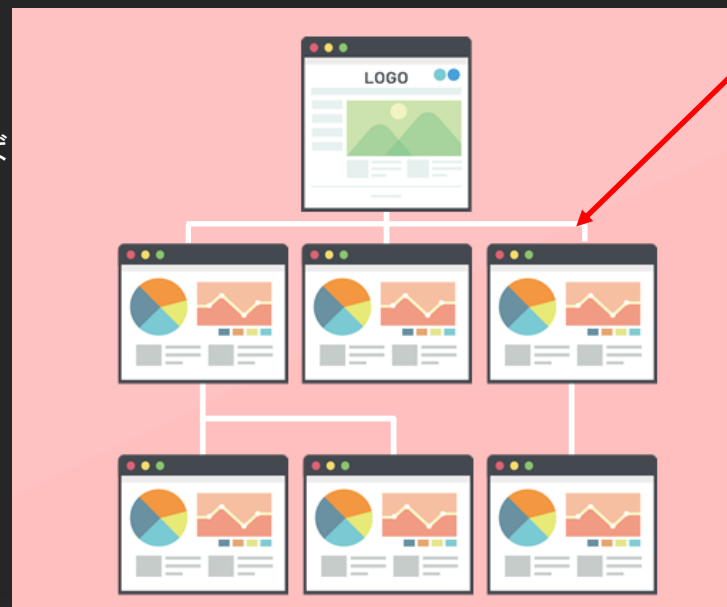


相対パスで記述されていれば
コピーしただけでちゃんと動く



サーバー移転
(よくある)

同じものを**九大**のサーバー上に構築



もし**絶対パス**で記述されていれば、
全てのhtmlファイルやcssファイルの
<http://www.kurume-it.ac.jp>
という部分を
<http://kyushu-u.ac.jp>
に書き換えていかないとイケない

相対パスの書き方を知っておこう

まとめ

1. 同じ階層（フォルダ）内のファイルを呼び出す時は、**ファイル名のみ**を書けばよい
2. 下の階層を指定する時は、「**フォルダ名/**」を書けばよい
3. 上の階層を指定する時は、「**../**」を書けばよい

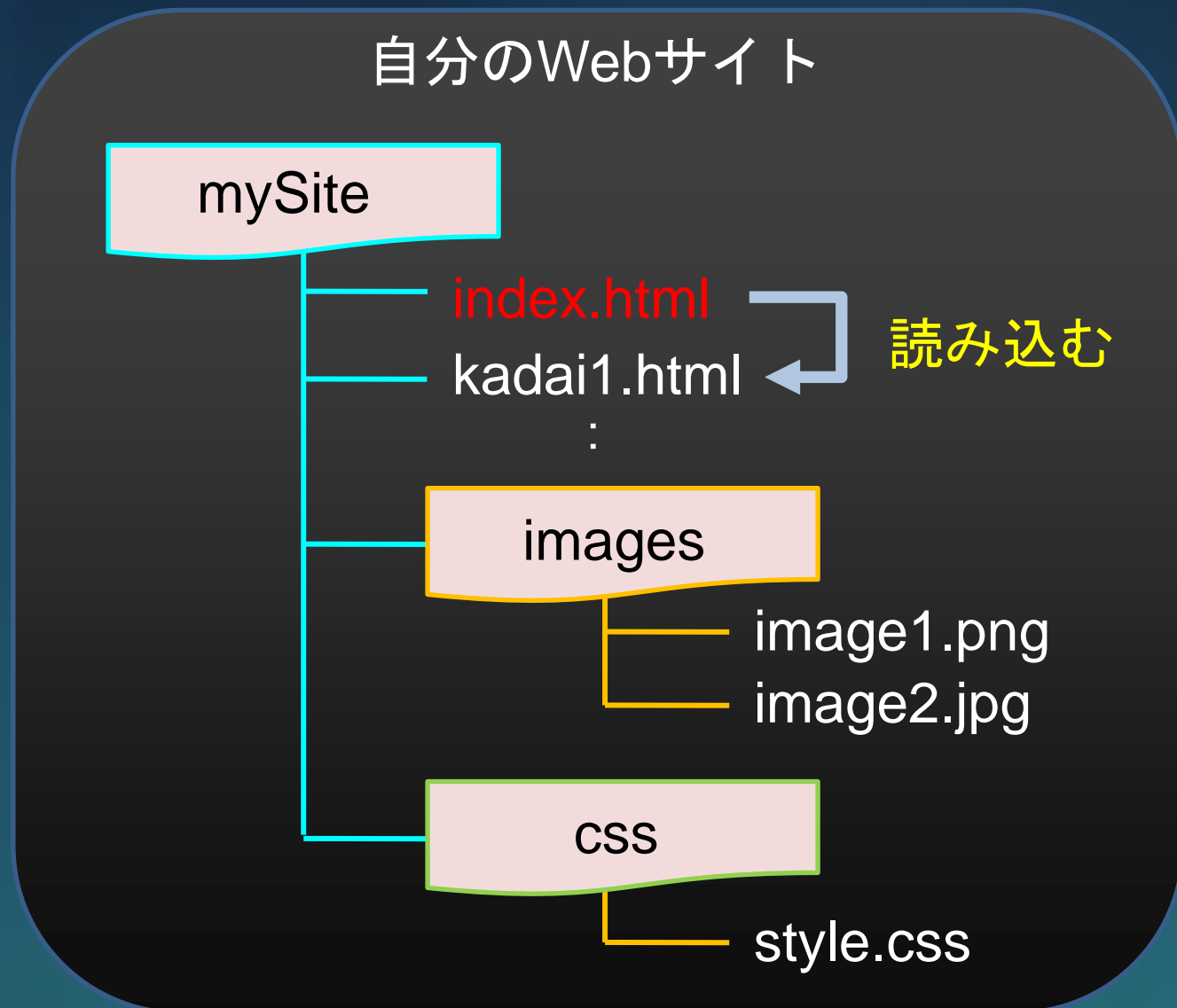
1. 同じ階層（同フォルダ）のファイルへの相対パス

同じ階層のファイルであれば、相対パスは
ファイル名のみを書けばよい

例：index.html内でkadai1.htmlへリンク

```
<a href="kadai1.html">課題1</a>
```

そのままファイル名を書けばいい



2. 下の階層（下のフォルダ内）への相対パス

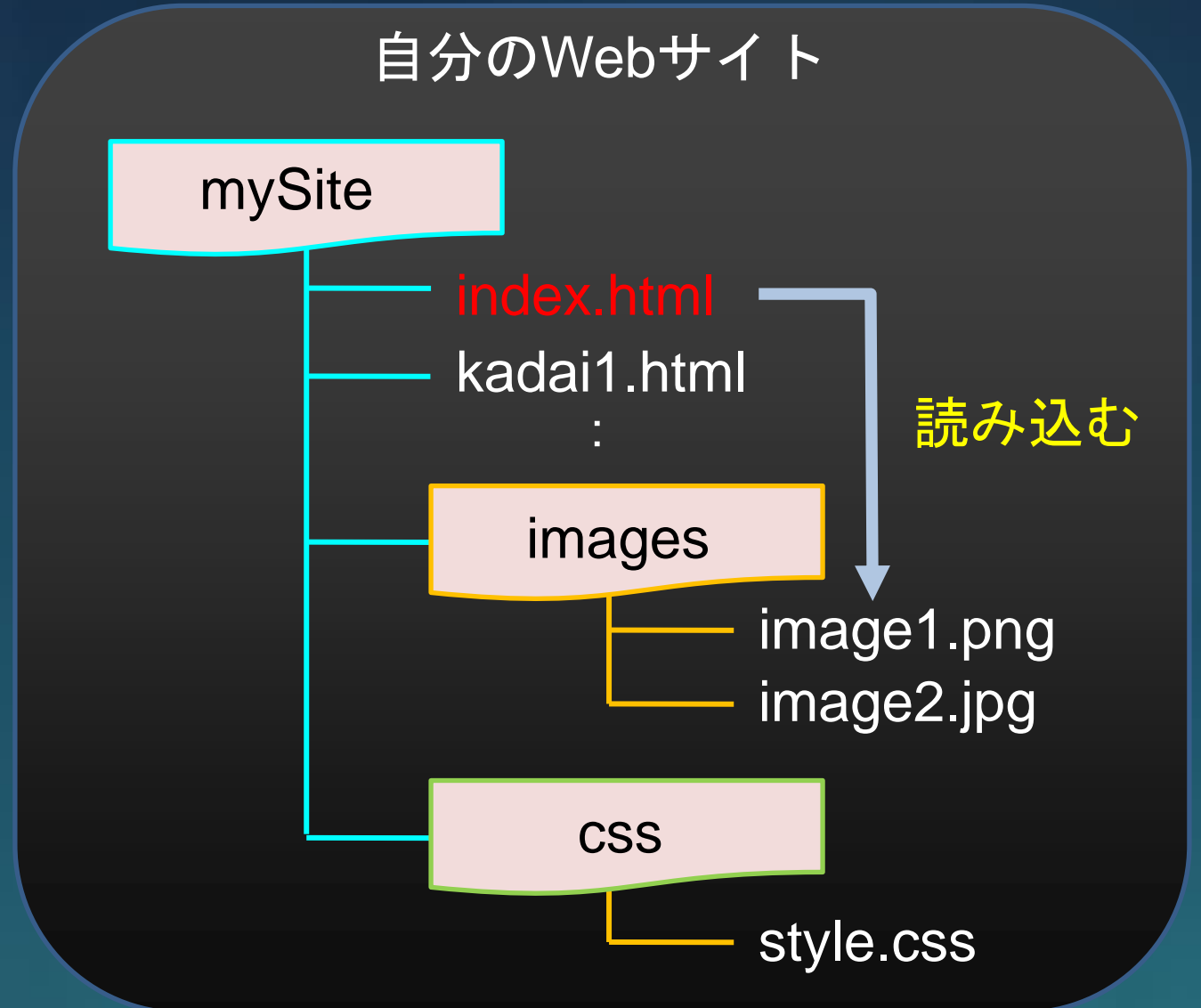
下の階層のファイル呼び出しには
『フォルダ名/』を使う

例：index.html内でimage1.pngの表示

```

```

『images/』は
imagesフォルダの中の～の意味



3. 上の階層（ファイルから見て上のフォルダ）への相対パス

上の階層の呼び出しには、

『 ../ 』を使う

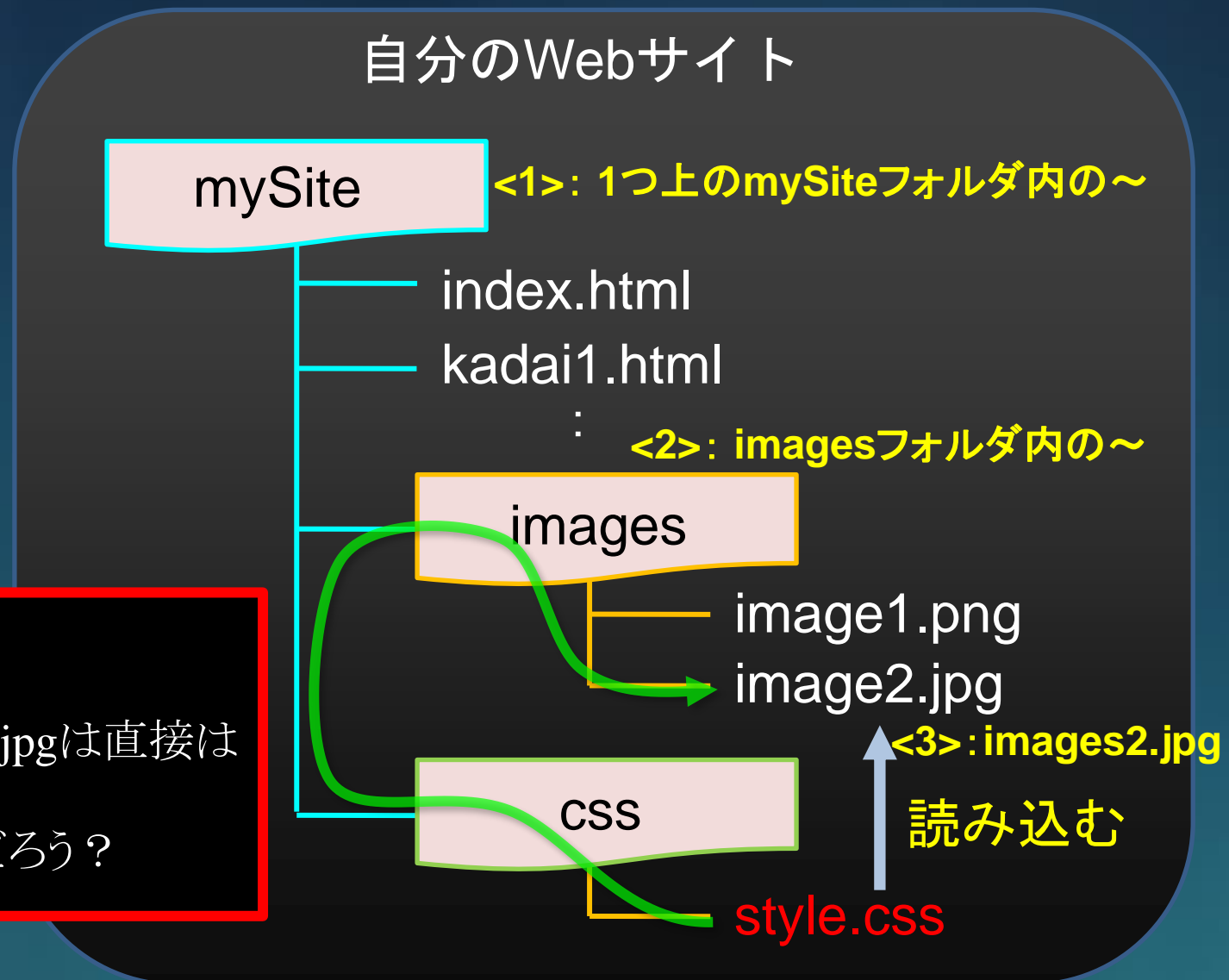
例： **style.css**内で**image2.jpg**を背景指定

****注****

style.cssを基準として考えること。

（**style.css**はcssフォルダ内にあるため、**image2.jpg**は直接は見えていない。）

どのように線を辿れば**image2.jpg**に行きつくだろう？



3. 上の階層（ファイルから見て上のフォルダ）への相対パス

上の階層の呼び出しには、

『 ../ 』を使う

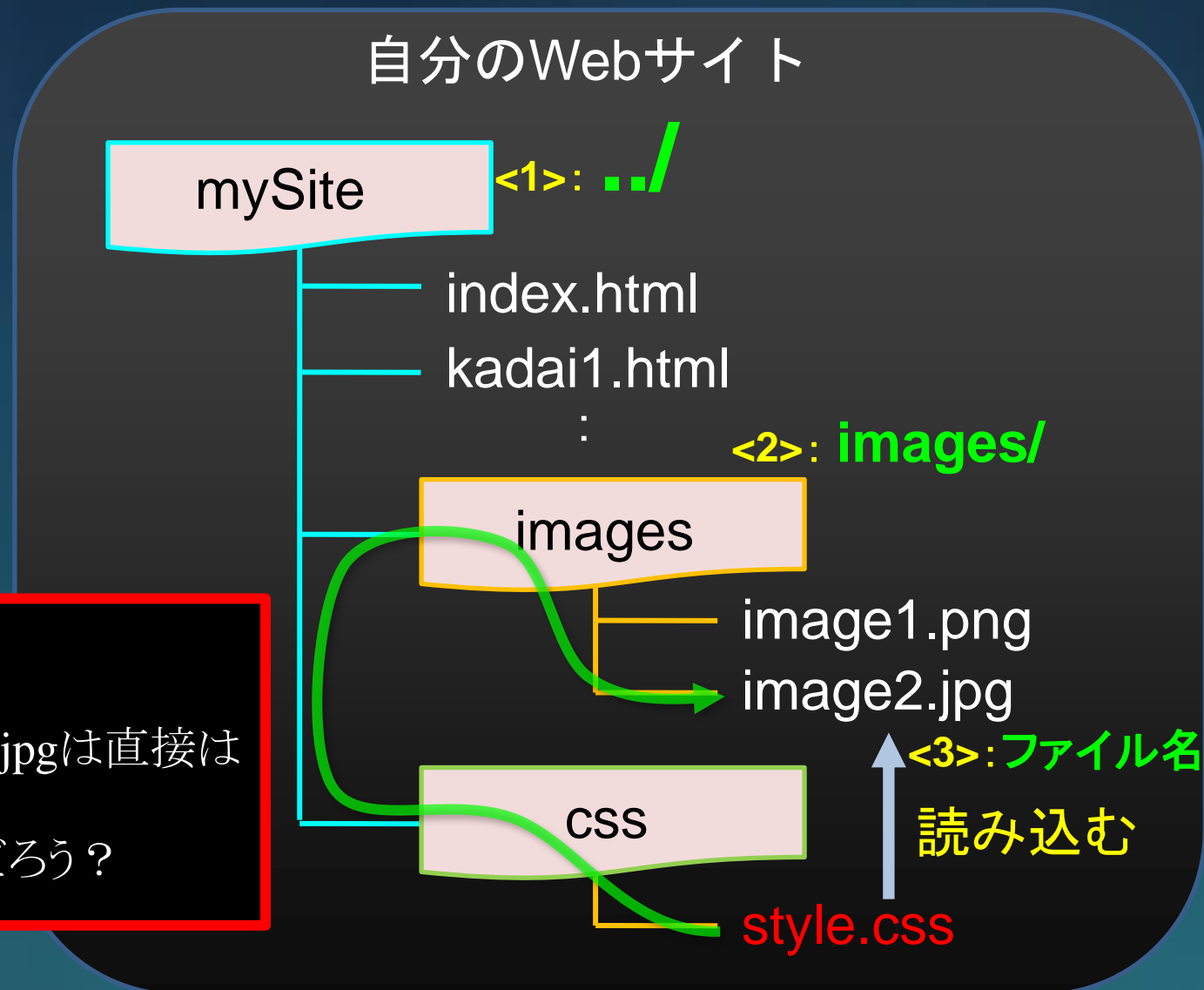
例：style.css内でimage2.jpgを背景指定

****注****

style.cssを基準として考えること。

（style.cssはcssフォルダ内にあるため、image2.jpgは直接は見えていない。）

どのように線を辿れば**image2.jpg**に行きつくだろう？



3. 上の階層（ファイルから見て上のフォルダ）への相対パス

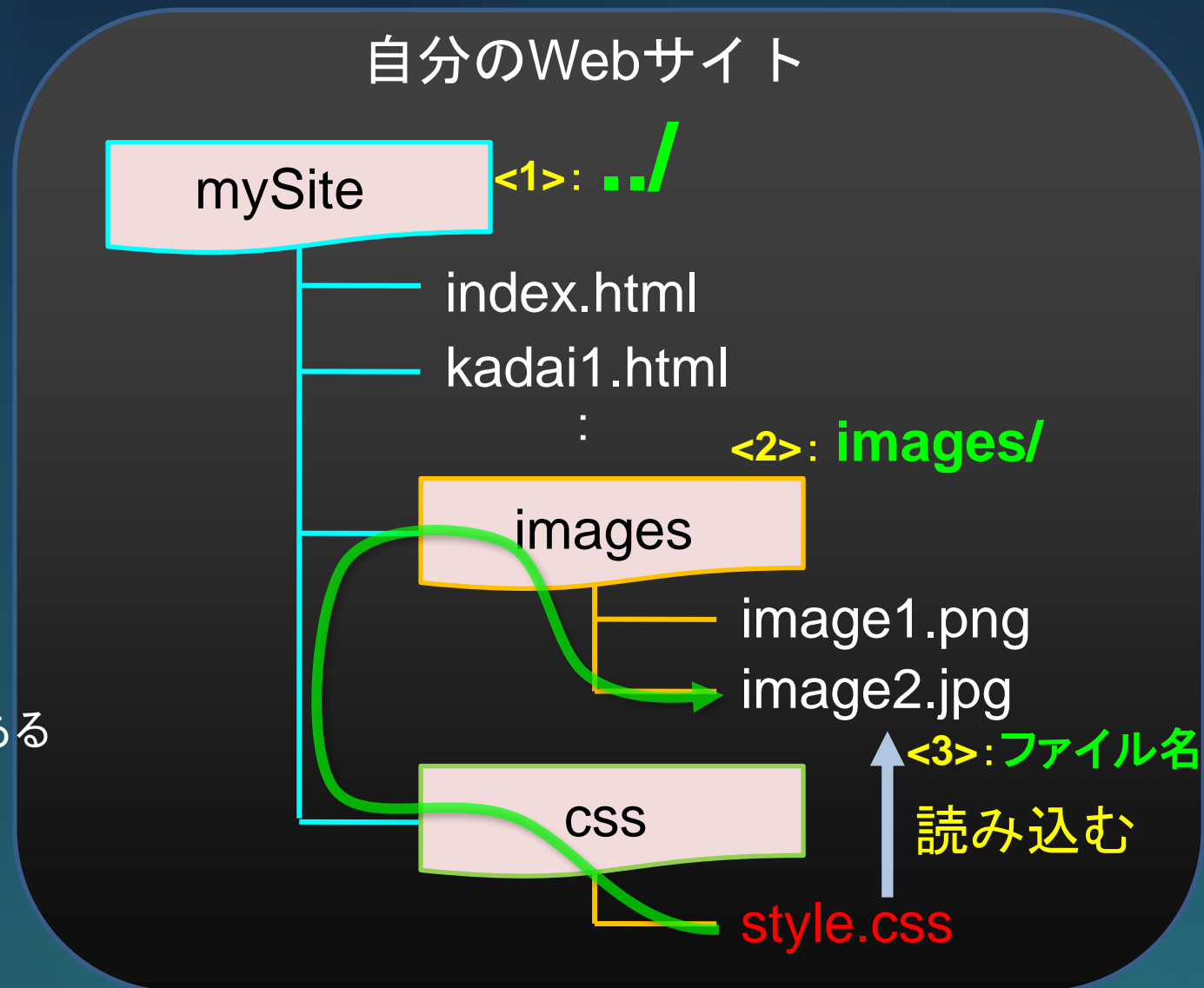
上の階層の呼び出しには、

『 ../ 』を使う

例：style.css内でimage2.jpgを背景指定

```
background-image:url("../images/image2.jpg");
```

上のフォルダ(mySite)の中のimagesフォルダ内にある
『 ../ 』は1つ上のフォルダの～の意味

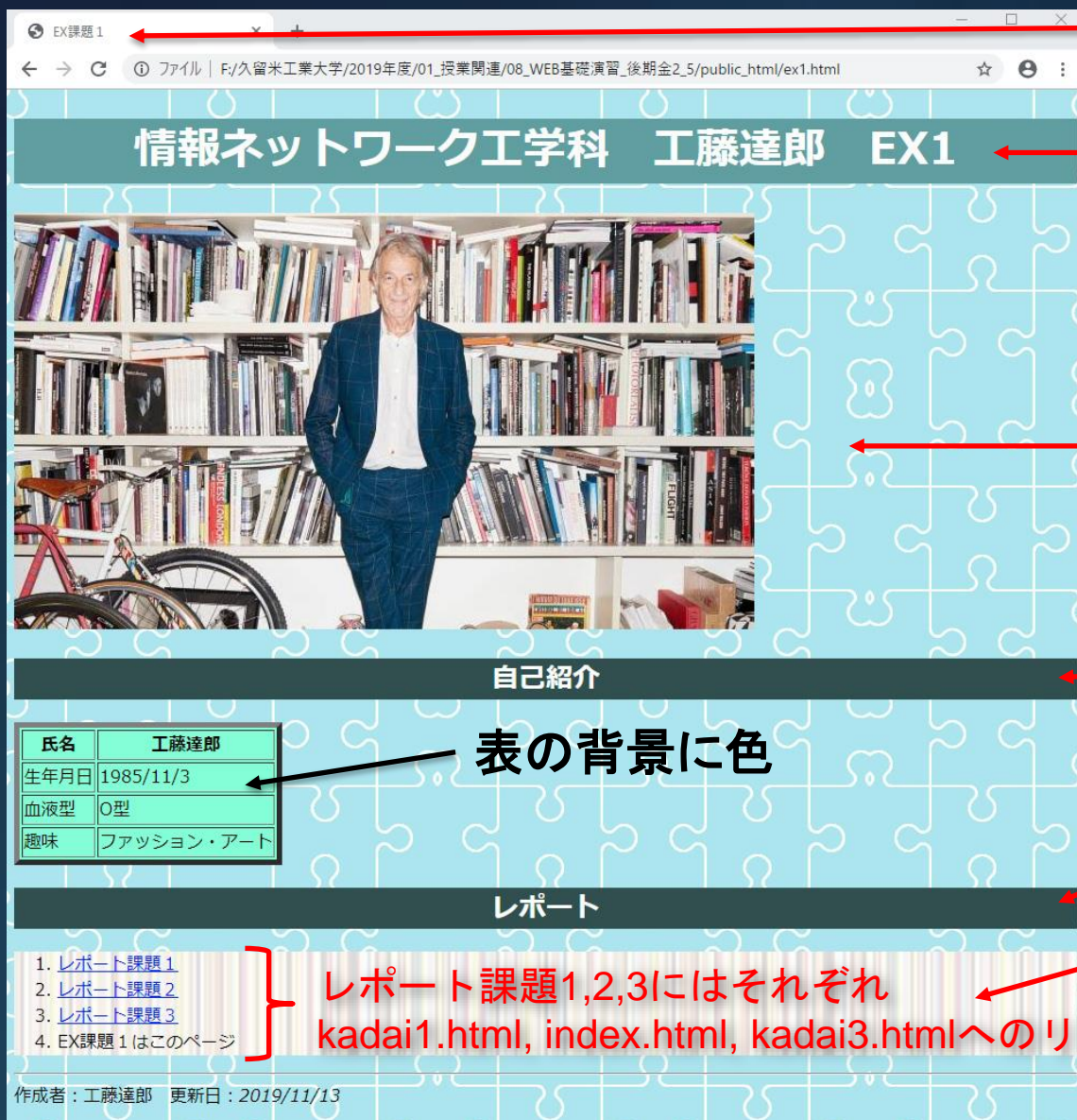


練習問題を解いてみよう

EX課題1

(めっちゃくちゃ時間余った時用)

EX課題1 : index.htmlを改良して以下のページを作ろう



タイトル「EX課題1」

大見出しは

- ・文字色を変える
- ・中央配置
- ・背景に色

Body全体の背景に画像

中見出しも

- ・文字色を変える
- ・中央配置
- ・背景に色

表の背景に色

行頭番号付きリストの背景に画像
(bodyの背景とは別画像)

レポート課題1,2,3にはそれぞれ
kadai1.html, index.html, kadai3.htmlへのリンク

ファイル名は「ex1.html」と「ex1.css」で提出
(アップロード)

表示の確認は必ずしよう

<EX課題1のURL>

https://e○○○.github.io/ex1.html



自分のGitHubアカウント名
(学籍番号+2文字)



ここは一字一句この
文字列で確認



- 1) ちゃんとページが出るか
- 2) リンクは正しく動いているか

確認